



神戸北山田錦生産者大会の開催

2月23日(金)に神戸フルーツ・フラワーパークにおいて「神戸北山田錦生産者大会」が開催されました。

大会では、昨年12月18日に開催された神戸北山田錦品評会の審査講評と、出品点数313点の中から厳正な審査により選出された19点の表彰式がありました。

(受賞者一覧は2月号に記載)



表彰式の後、JA全農兵庫米麦部長の土田恭弘氏による情勢報告と、殿畑営農組合営農部長の山崎広治氏による「山田錦の良質・安定生産を考える」についての基調講演がありました。



いちご狩りが本オープンします！

北区のいちご狩りが3月17日(土)より本格オープンします。いちご狩りは有野・大沢・長尾・淡河の各町の観光いちご農園で開園され、今年の作柄は良好で、甘くておいしいいちごが育っています。

いちご狩りは6月上旬まで開園される予定です。



神戸オリーブ園復活～物語でまちは生まれ変わる～

オリーブ復活植樹祭が開催されました



3月3日(土)に農業公園にて、神戸オリーブ園復活プロジェクト主催でオリーブ復活植樹祭が開催され、約250名の市民が参加しました。イベント参加者は、神戸大学の中西テツ名誉教授から神戸のオリーブの歴史等に関する説明を受けた後、湊川神社に現存する明治時代のオリーブの古木から挿木して作った苗木の記念植樹や、オリーブをふんだんに使用したお昼ご飯の試食、さらに産地ごとのオリーブオイルの特徴について

説明を受け、多種多様なオイルの味や香りを楽しみました。



古民家再生プロジェクト

ワークショップ in 奥町家を開催しました！

2月28日(水)、長尾町で新たに里づくり拠点施設となった上上津地区の奥町家で、ワークショップイベントが開催されました。長尾町民のほか、有馬高原病院、行政などから、約30名がワークショップに参加し、「奥町家の使い方」や「この建物を使って、各自がどんなことができるか」について話し合いました。

今回出た意見は、今後の活用策の参考にさせていただきます。



神戸花物語 2018 春

神戸ハーバーランドデュオこうべ「デュオドーム」にて、3月2日（金）から4日（日）の3日間、神戸花物語 2018 春が開催されました。期間中は、淡河のチューリップや西区の花卉の展示販売が行われ、約3万人の来場者がありました。

会場ではフラワーアレンジメントや寄せ植え体験などの花の教室も開催され、多くの方が参加されました。



第2回『道場の農業を考える会』 が開催されました！

3月9日（金）「道場町の農業を考える会」で淡路市にある五斗長（ごっさ）営農組合に視察に行きました。この営農組合は、平成16年の水害により大きな被害を受けたことを契機に、『美しい五斗長』をいつまでも守り続ける』を合言葉に、営農活動やまちづくり活動に取り組みられています。

出席者からは次々と質問が出ていました。今後の参考にしたいと思っております。



大沢町里づくり地域協議会

を開催しました！

3月5日（月）、大沢町里づくり地域協議会を開催しました。各里づくり協議会の現状と課題や、人と自然との共生ゾーン整備基本方針の見直しの報告のあと、兵庫県森林動物研究センターから講師を招いて、イノシシ・アライグマの被害対策について講義していただきました。

北神みそづくり講習会が開催されました

2月25日（日）、JA神戸北女性会が主催する北神みそづくり講習会がJAふれあい会館で開催されました。

北区産の大豆と米糶にこだわったみそづくりで、毎年参加される人や遠方からの人など多数の応募があり、抽選で39人が参加されました。



北神なすの表彰式が開催されました

北区特産の北神なすの表彰式が3月13日（火）にJA神戸北営農総合センターにおいて開催されました。肥培管理や病害虫対策、さらに出荷実績を基に審査され、特選には、淡河町の大町宗弘さん、道場町の塚本厚さん、宇津美智子さんが選ばれました。

有害鳥獣ひとくちメモ



侮れない！イノシシの身体能力について

イノシシは本来、警戒心が強く、とても臆病な性格。人の気配に気づくと隠れたり逃げたりします。しかし・・・

- ！ 高さ約1m 柵はジャンプで飛び越えることがあります
- ！ 70kgのものでも持ち上げられる万能の鼻
- ！ 嗅覚に優れますが嫌いなにおいは特になく、木酢液やクレオソートなどの忌避剤はあまり役に立ちません



柵で囲って侵入防止をするのが基本です。
柵は定期的なメンテナンスを！！

（監修：兵庫県森林動物研究センター）